

きずな

令和4年 苓北町消防出初式

主な内容

- あいさつ 1
- 臨時会・定例会 2～4
- 全員協議会 4
- 臨時会 5～6
- 建設経済環境常任委員会報告 7
- 一般質問 8～12



町花「はまゆう」

議 会 日 誌

※主なものを載せています



町木「ツバキ」

10月

- 18・19日 建設経済環境常任委員会
- 19日 令和3年第6回議会臨時会
- 19日 総務文教厚生常任委員会

11月

- 2・16日 建設経済環境常任委員会
- 4日 県町村議会議長会広報研修会
役場第一第二委員会室(オンライン研修)
- 26日 町村議会議長会全国大会
明治記念館
- 29日 議会運営委員会

12月

- 8・9・10日 令和3年第7回議会定例会
- 8日 全員協議会
- 17日 令和3年第8回議会臨時会
- 10・22日 議会広報特別委員会

1月

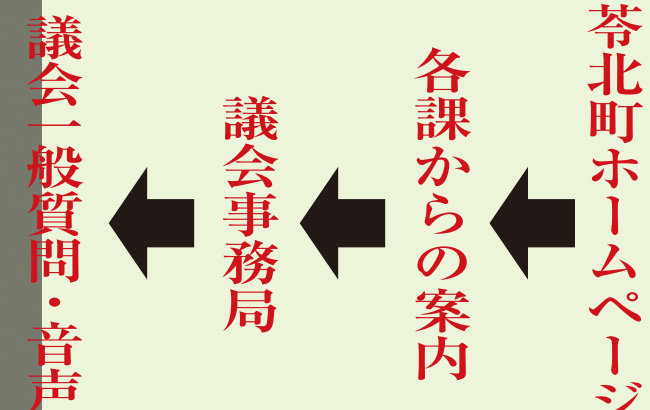
- 5・12日 議会広報特別委員会

次の定例会は 3月です。

- 10月臨時会の傍聴者は、**7人**でした。
- 12月定例会の傍聴者は、**69人**でした。
- 12月臨時会の傍聴者は、**35人**でした。

会議録は『苓北町役場ホームページ』
<https://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/>
で閲覧できます。

“定例会の一般質問が インターネットで聞けます”



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。

編集後記

あけましておめでとうござい
す。今年も議会だより「きずな」
をよろしく願い申し上げます。
さて、来年1月には再び町長、
町議会議員選挙が行われる予定で
す。特に、町議会議員選挙は定数
が12人から10人に削減されて行わ
れます。
先の選挙では、町議会議員定数
ちようどの12人の立候補しがなく、
投票行為は行われませんでした。
町議会は、今後の人口減少等を
考慮し、定数削減に舵をきりまし
た。
町議会議員になるのは難しいと
考えておられる町民の方も多いか
もしれませんが、町議会議員は、
『町の発展のため』との意思を持
って取り組み可能、町民の期待
にそえるのです。
被選挙権を有する町民皆様の町
議会議員への立候補をお待ちして
おります。

議会広報特別委員会

こんなことが決まりました!!

令和3年 第6回議会臨時会 開催日：10月19日

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
議案第62号	財産の取得について	苓北町小中学校に、教育用動産として電子黒板35台・書画カメラ18台を購入 契約の方法 指名競争入札 取得金額 13,167,000円 契約の相手方 天草市 株式会社北星堂 代表取締役 高井太郎	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 ×賛成少数で否決

令和3年 第7回議会定例会 開催日：12月8日～10日

令和3年第7回定例会が、令和3年12月8日（水）から12月10日（金）の会期で開会され、一般質問、条例改正、令和3年度補正予算など11議案が提案された。令和3年度一般会計補正予算（第6号）については、修正動議が提出され、減額された補正予算が賛成多数で可決された。

また、建設経済環境常任委員長から所管事務の調査結果報告及び監査委員から定期監査の結果報告が行われた。

■条例制定（改正）について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
議案第63号	苓北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	国の施行規則改正に伴う条例改正	◎
議案第64号	苓北町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	出産育児一時金の改正 （出産児1人40万4千円を40万8千円に増額）	◎
発議第11号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	国が新型コロナウイルス感染症終息宣言を出すまで、議員の期末手当を削減	×

【結果の表示について】◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 ×賛成少数で否決

■各会計補正予算について

（単位：千円）

議案番号等	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
承認第8号 専決第9号	専決処分の承認について 令和3年度苓北町一般会計補正予算（第5号）	4,866,011	23,631	4,889,642	新型コロナウイルス対策事業等の増等	◎
議案第65号	令和3年度苓北町一般会計補正予算（第6号）	4,889,642	454,020 502,220	5,343,662 5,391,862	財政調整基金積立等の増 歳出、白木尾海岸農地保全事業48,300千円を減額し、かかる歳入、地方債48,200千円を減額、一般財源100千円を予備費に組み替える修正動議提出	修
議案第66号	令和3年度苓北町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	1,041,803	△ 1,334	1,040,469	予備費の減等	◎
議案第67号	令和3年度苓北町介護保険特別会計補正予算（第2号）	1,101,059	1,558	1,102,617	保険給付費の増等	◎
議案第68号	令和3年度苓北町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	125,502	△ 1,462	124,040	後期高齢者医療広域連合納付金の減等	◎
議案第69号	令和3年度苓北町水道特別会計補正予算（第2号）	192,214	12	192,226	予備費の増等	◎
議案第70号	令和3年度苓北町下水道特別会計補正予算（第2号）	330,342	△ 1,416	328,926	管理費の減	◎
議案第71号	令和3年度苓北町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	40,809	△ 93	40,716	管理費の減	◎

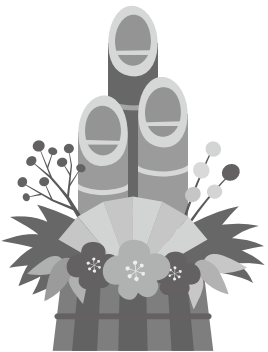
【結果の表示について】◎全会一致で可決 修 賛成多数で修正可決 ×賛成少数で否決

新年あけましておめでとうございます



苓北町議会 議長

錦 戸 俊 春



皆様方、お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の一年間を表す漢字は、オリンピック・パラリンピックでの日本人の金メダル獲得や、大谷翔平選手のMVP獲得、将棋の藤井聡太さんの四冠達成、それに新型コロナウイルス感染拡大に伴う飲食店への休業支援金や給付金などの話題が多かったことで、「金」が選ばれましたが、皆様方は、一文字で表すと何を想像されたでしょうか？金のように輝き、皆様にとって明るい年になればと思います。

新型コロナウイルス感染症は、収束傾向にありましたが、他国では変異株（オミクロン株）が多発し、国内でも感染拡大の傾向にあります。

皆様方個々の予防・健康管理で感染を激減させ、今後感染拡大することなく、このまま収束することを願うものです。

社会経済の低迷によりそれぞれ大変苦慮されて来られたことと思います。また、8月の集中豪雨により日本の各地でも甚大な災害が起きました。衷心よりご冥福とお見舞いを申し上げ、早期の復旧・復興をお祈り致します。我が町も災害があり、幸いに人的災害はありませんでしたが、災害のない安心して住める町づくり、国土強靱

化に努めるとともに、今年は災害のない平穏な年であることを願うものです。また、ここ近年は特に人口減少が著しく、12月末で、6,758人、高齢化率が43.1%となっております。高齢化対策など町民福祉に努めなければなりません。

昨年10月には、岸田内閣が誕生。その後に、衆議院解散総選挙が実施され、11月には、第二次岸田内閣が発足いたしました。新型コロナウイルス対策、経済対策に期待するものです。

社会経済の悪化で税収は大きく減少するものと思いますが、令和4年度の国家予算は過去最高額の予算が編成されるようですが、内容は厳しい予算編成になると思います。我々地方自治体にとりましても、厳しい財政運営になるものと思います。

お互いに知恵を出し合い、切磋琢磨して町政に取り組み、町民の福祉向上に努め、更に皆様方の負託に応え期待される議会を目指し、自己研鑽を積み重ね取り組んでいかなければなりません。議会に対し皆様方ご意見をお聞かせ頂き、ご指導・ご鞭撻をお願い致します。

結びに、皆様方の益々のご健勝と、町の更なる発展を祈念申し上げます。年頭の挨拶と致します。

令和3年度 一般会計補正予算(第6号)修正可決について

12月10日の本会議において浜口議員から修正動議が提出され、下記の討論を経て賛成多数で可決した。また、修正部分を除く一般会計補正予算については、全会一致で可決した。

修正案の内容

白木尾台地法面崩壊防止対策事業に係る工事請負費48,300千円を減額し、その財源内訳の一般財源100千円を予備費に回すものとする。

原案に賛成討論

廣田議員

今回の補正は緊急性や優先度の高い事業、各種制度改正に対応するための事業、さらには令和4年度に向けての準備経費などが補正されており、いずれも適正な内容であると認める。

田嶋議員

白木尾台地法面工事については、過去3回ほど町当局へ要望書が提出されている。基盤整備された農地が浸食され、なくなってしまうという地元としての懸念事項となる。白木尾地区には農業の後継者が複数いる。国県との調整、地元地権者との協議も終えられ、今回、承諾を得られた箇所についての関係予算の提案にこぎつけられた。賛

成する。

野田議員

役場の対応等が問題視されているが、慣習的なことであり業務執行には問題ではない。よって賛成する。

倉田議員

早期復旧の要望書と工事にACⅡ使用に反対の要望書も出ている。この製品の安全性について平成16年から4年間、全議員で『石炭灰リサイクル調査検討特別委員会』を設置した。その結果は、資料通り製品全て環境基準以下。従って、県など関係機関の許認可及び、ACⅡを使った多くの工事と『特別委員会』を否定し、製品の信用にも繋がりに兼ねない。行政は事業対費用効果の観点から費用軽減に努める必要があるのは言うまでもない。

修正案に賛成討論

石田議員

私は農地の保全そのものに反対するものではない。農地の保全は必要と思う。町からの説明では海岸保全は県の事業。町の事業は法面部分の保全と聞いた。なのになぜ県の事業である海岸保全まで町の事業でやるのか納得できない。地権者からと潜水組合から町の

工事について要望書も出ているのになぜ急いで工事を強行するのか。資料として町から提出された賛成者の要望書のみ議員からの指摘で1件再請求をしてまた1件。偏った資料の出し方にも疑問が残る。

松本議員

白木尾台地請負工事費の要望書によると、①伏流水により畑地法面の崩壊が進み、畑面積が少なくなると共に、安全性も脅かされている。②住宅地が点在し心配。と言う事であるが、計画書での完成時には、現在の面積よりも少なくなり、保全のための防災工事が、逆効果になる。また家屋はない。

一方全体がコンクリート類似の壁面材等で施工されているため、完成後強風が吹き上げる砂により、近隣住宅が被害を受ける事となる。

この工事は全額町費であり、町内類似土地保全に不公平が生じる。

高戸議員

白木尾台地法面崩壊防止工事には関係住民の皆さん同様賛成である。

しかし、過去に私たちは、本工事に類似した苓北町拠点避難地造成工事において多量の建設残土が発生しその処理問題で大変苦い教訓を負っている。以上なことから、工法変更等を含め再度精査検討が必要と考え本修正動議に賛成する。

野崎議員

白木尾台地護岸の保全事業が大事である事は十分理解している。

しかし、これまでの説明では、一番大事である、全ての地権者の承諾を得られていない事。また、工事の工法にまだまだ、検討すべき点が多くあると考える。

よって、今回提案の「白木尾台地農地保全事業」には反対であり修正案に賛成する。

山口議員

白木尾台地法面崩壊防止工事は、延長113m、幅8m、高さ8mをACⅡ盛土材で全面的に埋め立てるもので、一部地権者から絶対反対との声があがっている。法面工事を吹付法枠工に変更し、埋立材に志岐漁港等で保管中の建設残土を活用すれば延長113m、幅8m余の更地ができ、駐車場等への利用も可能となり白木尾海岸が魅力的な観光スポットに生まれ変わる。よって修正案に賛成する。

浜口議員

これまで、白木尾内田海岸の保全のために、そして、地域住民の生活安全のために護岸高さ等の是正等を提起してきた。今回、町が、当該工事費予算の99・8%を地方債に頼って予算費目農地費での工事が提案されている。しかし、これまでの説明の中で、標

準断面測点N0.3を見れば、既存農地区域に構造物が設置され、農地は消滅してしまっている。この様な事から、一般会計の農地費に計上された事業としては認められない。

よって、修正案に賛成する。

発議第11号 提案者 浜口雅英

苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について

原案否決

趣旨説明

新型コロナウイルス感染症を目の当たりにし、町民の生活や、町の基幹産業である農業、漁業、商工業等すべての産業にこのコロナ禍が悪影響を及ぼしているのではないだろうか。

加えて、本年10月下旬から原油価格が高騰し、町の産業や私たちの生活がさらに厳しくなっている。

この様な中で、私たち議員もわずかな額なのかもしれないが、新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、議員期末手当を支給しないとする条例の制定を提案するものである。

賛否表 (○ 賛成 ・ ● 反対 議長(錦戸)は採決に加わらない)

議案番号等	事 件 名	結果	表採決 賛成・反対	山口	野田	廣田	高戸	松本	石田	浜口	野崎	山本	倉田	田嶋	錦戸
発議第12号	議案第65号令和3年度苓北町一般会計補正予算(第6号)に対する修正動議	可決	6:5	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	-
発議第11号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	否決	2:9	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	-

議案第72号

苓北町温泉プールの指定管理者の指定について

名称・代表者 合同会社りんせん 代表社員 金子純二
住 所 天草市本渡町本渡614番地1
期 間 令和4年4月1日～令和7年3月31日

原案可決

陳情等文書の取り扱い結果

受理年月日	番号	件 名	提 出 者	結 果
R 3. 11. 24	陳情第4号	ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書の採択のお願い	東京都文京区後楽2-3-8第六松屋ビル401号室 特定非営利活動法人 日本ウイグル協会 会長 于田ケリム	議会運営委員会に諮り、議員配布とした
	陳情第5号		東京都文京区後楽2-3-8第六松屋ビル401号室内 ウイグルを応援する全国地方議員の会 会長 丸山治章 幹事長 小坪慎也 政調会長 笠間昇 総務会長 野田彰子	

全員協議会

(令和3年12月8日(水)開催)

一、新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)

12月から医療従事者の接種を開始し、65歳以上と高齢者施設従事者は1月後半から開始となり、18歳以上65歳未満までの接種は2月後半からの接種開始となること。

二、苓北町行財政改革

行革デジタル対策室を総務課内に設置し、行財政改革に向けた、より具体的な取組計画を策定し、その目標達成に向けて全庁的に取り組むとの報告を受けた。

三、白木尾台地法面崩壊防止工事

10日に提出される議案第65号にある白木尾台地法面崩壊防止工事について、図面等の提示を受け、その工事の必要性等について、説明を受けた。

四、議会におけるIT機器の持ち込み

今17期の苓北町議会においては、執行部を含み、原則、IT機器の持ち込みを「不可」とすることとした。
ただし、次期改選時、議員定数が10人となる、そのことに伴い、議場の改修が必要、その場合には、議席での電源設備の確保、また、併せて、議会におけるタブレットの使用の必要性についても、その時の町議会議員と町執行部での再度、協議調整を図ることとしていく。

議案第65号令和3年度苓北町一般会計補正予算(第6号)
(案)が再議に付された。

「再議の説明」

再議とは、町長が、議会の議決に対して異議があるときに、その理由を示して議会の審議のやり直しを求めるもの。議会は、その理由を十分に検討し、判断し、意思を再決定することとなる。再議に付された議決は、過半数でなく、議長を含めた出席議員の3分の2以上が、その議決結果に賛成した場合に確定する。

再議の申請

令和3年12月10日に修正議決された「議案第65号令和3年度苓北町一般会計補正予算(第6号)」については、以下の理由により異議があるため地方自治法第176条第1項の規定に基づき再議に付する。

町長 田嶋 章二

理由(一部省略)

一、白木尾台地法面崩壊防止対策事業の実施は、永年の懸案事項であり、令和元年5月に関係区長(内田区・白木尾区・年柄区)連名により提出された「白木尾台地海岸線の法面崩壊防止対策事業の実施について」の要望を受け、国土強靱化対策として、

土地所有者等の負担が生じない形で町において対応するもので、今回の施行箇所は土地所有者等の承諾を得た上での補正予算計上であり、土地所有者等は早期の事業着手を望んでおられる。

二、使用予定の石炭灰リサイクル製品(ACⅡ)は、路盤材・盛土材として熊本県知事の許可を受けた建築資材であり、国の指定機関である一般財団法人建材試験センターにおいて環境主張建設資材の適合証明を受けた資材である。官民問わず使用がなされ、資源循環型社会への貢献が図られている。

三、苓北町地域資源有効活用事業(石炭灰リサイクル事業)を実施するにあたり『苓北町地域資源有効活用ビジョン』に基づき、石炭灰リサイクル事業者を誘致し、産業の活性化と雇用の創出を図ってきた。

四、事業の進め方に疑義が挙げられたが、先の6月議会にて事業実施に係る測量設計費の計上を行い、その後、3回の関係者説明会と欠席者への個別の説明を複数回行った上での提案であり、土地所有者等には事業実施のご理解をいただいている。

五、畑地面積が少なくなるとの疑義が挙げられたが、今回の事業は正に農用地を保全する事業である。現状では浸食が進み、広範囲に土地が滅失している状況であるため、今回の事業で一部復元、確保を目指すもので

ある。また、防潮林が失われるとの疑義が挙げられたが、今回の事業は一部法面部分の掘削が伴うものの、防潮林を消失させる範囲ではない。

六、数年にわたり熊本県とも協議を重ねながら計画を進めてきたものであり、令和元年度に創設された緊急自然災害防止対策事業という有利な起債を活用して行うものである。また、サーフィンや夕陽観賞等の観光面での休憩所、駐車場等の整備は事業実施の趣旨とは異なるものであり、緊急自然災害防止対策事業の対象とならない。

七、工法について疑義が挙げられたが、大型かご枠工法、補強盛土工法、補強土壁工法、吹付法枠工法、かご枠工法の5案から、それぞれの工法の施工性、構造性、事業費も含め検討し結果、No.0からNo.5+13・36mの間は「補強盛土工法」、No.5+13・36mから終点No.8+9・00mについては、「吹付法枠工法」を採用するに至った。

「今回の審議経過」

今回は、その3分の2に達しなかった(下記のとおり)ので、再議に付された議決は白紙となり、修正議決される前の補正予算原案を審議することとなった。この場合は、過半数議決となるが、賛成少数により、修正議決される前の補正予算原案が、否決された。(下記のとおり)

賛否表 (○修正議決賛成 ・ △修正議決前の原案賛成 ・ ●反対 -は採決に加わらない)

事 件 名	結果	表採決	山口	野田	廣田	高戸	松本	石田	浜口	野崎	山本	倉田	田嶋	錦戸
		賛成：反対												
議案第65号令和3年度苓北町一般会計補正予算(第6号)に対する再議について	再度審議	6：6	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●
議案第65号令和3年度苓北町一般会計補正予算(第6号)	否決	5：6	●	△	△	●	●	●	●	●	△	△	△	-

※再議については、再議に付された議決の確定に出席議員の3分の2以上の賛成を必要とするため採決の結果、原案を再度審議することになった。
※錦戸議長は、再議についての議決では、表決権を有する。(特別多数決)

原案に賛成討論

廣田議員

町民生活の安心安全を守ろうとする今回の補正予算の原案すべてに反対することは、予算の議決権を有する、いち議員として断じてできない。

野田議員

この議案を否決すると、12月一般会計の補正予算全部が否決となる可能性がある。よって原案に賛成する。

田嶋議員

平成26年に一般質問をした。町当局の答弁として、波の浸食はなくなつたが、傾斜面の崩壊が収まっていない。どういった事業があるのか、受益者負担をどうするのか。地元受益者、関係部署と協議・要望をして参るとのことだった。今回、関係部署との協議を終え、地元受益者で承諾を得た範囲での事業実施に係る補正予算の提案がなされた。

倉田議員

これまで町と議会は長期にわたり、県や国に要望活動を行い、防波堤工事は完成した。今回『白木尾台地法面崩壊防止工事』の工法、事業費等に目処が立ち、対費用効果も見込まれるが、一部にACⅡの使用に反対者もおられる。これは、県・関係機関の許認可を基にしてきた、工事と製品を否定した

ことに繋がり兼ねない。出来る部分から進め残部分は、引き続きご理解をいただき、住民の暮らしの安心と、農地保全の早期完成を望む。

山本議員

志岐平野は白木尾台地に守られている。一日も早い事業実施を望むとともに、事業実施の同意が取れていない区間の地権者への引き続きの丁寧な説明を望む。

原案に反対し修正議決に賛成討論

山口議員

町長は、白木尾台地法面崩壊対策工事に一部地権者の同意が得られていないACⅡ盛土材で全面埋め立てする工法しかないと再議に付された。工事を強硬に実施すれば地域コミュニティを壊す恐れもあり、町民の代表である議会の意思を重要視しないことにも通じるもの。苓北町の宝である白木尾台地の20年先を考えた工法の見直しが必要であり、12月議会で可決した修正案に賛成する。

野崎議員

再議として補正予算第6号が提案された。しかし、今回、白木尾台地保全事業予算を修正することができず、原案に賛成か、反対かを採決しなければならぬ。町民の生活に直結した大事な予算が含まれる苓北町一般会計補正

予算すべてを否決することは本意ではない。しかし本事業については再検討を期待していたが、前回と同じ内容の提案であり到底納得できない。修正案に賛成する。

松本議員

今回補正予算及び計上の白木尾台地保全事業に反対するものではない。この事業の再検討が必要。

ここは草竹林で覆われ、海面からの強風、潮、砂の飛来を防ぎ、防潮、防砂の役割を担っていたが、この工事により今後は、農作物を始め、近隣住宅まで被害を受ける。地元説明会等を実施し、入念に調査検討されたか疑問。全ての住民納得の下、白木尾台地にふさわしい事業の実施が必要である。

又潰地は買収するのが基本。町内類似の浸食、崩壊土地の保全に不公平が生じてはならない。

石田議員

今回の補正予算には7月豪雨、コロナなどの予算も入っているので反対するのはつらいのだが白木尾台地保全事業の工法や材料に疑問を持つ。平山土捨て場で目の当たりにしたACⅡの脆さ、風に乗り煙のごとく舞い上がる粉塵を見た者としては賛成できない。今回の工事でACⅡむき出しの部分に覆土もしないとのこと。波風の強い海岸においてACⅡを使用することに疑問が残る。また反対者の土地を除いて

工事を施工すること。これで強度は保てるのか。

高戸議員

白木尾台地法面崩壊防止工事そのものを否定するものではない。しかし今だ2名の同意が得られていない。引き続き丁寧な説明を行い、同意を得られる努力を行うとともに、工法の再検討見直しを願う。

議会と執行部がいつまでも対立し、提案、修正、再議、この姿を見て町民の方々はどう思われるか、混乱をきたさないことを望み修正案に賛成する。

浜口議員

今回の一般会計補正予算第6号では、歳出5億円余りの中、障害者自立支援介護給付費23,942千円、新型コロナウイルス接種関係5,365千円、イノシシ駆除1,088千円等日常生活に密着した経費、農地費48,750千円、そして、私たちの生活に無くてはならないライフラインの災害復旧費181,159千円が計上されている。

当然これらの事業に要する費用の歳出予算案に賛成し、町民皆様の生活の安寧に努めるべきだが、今回の補正は、これまで申し上げた様に農地費の工事請負費の総事業費の額も示されないなどずさんとしか言いようがない。

よって、町の予算計上への対応のまづさから、修正案に賛成する。

建設経済環境常任委員会報告

建設経済環境
常任委員長

松本良人

建設経済環境常任委員会では委員会活動として、8月豪雨における都呂々木場地区被災状況調査と町内一斉現況調査を次のとおり行った。

一、8月豪雨における都呂々木場地区被災状況調査

- (1) 調査期日及び箇所：令和3年9月30日(木) 都呂々木場地区町道涼松線ほか災害発生現場
- (2) 概要
8月の豪雨により集中的に被災を受けた都呂々木場地区の災害発生現場において、各担当課長及び担当者同行のもと、関係課の説明を受け状況確認、調査を行い、帰庁後、担当課を交え総括を行った。
- (3) 調査における意見、要望等
町道、林道等路肩や法面等の崩壊、河川護岸の崩壊を始め、農地等多数の被害が発生し、地域住民の生活に多大な支障を来している。早急な復旧を図るとともに、二次災害の防止と、安全対策を求める。

二、町内一斉現況調査

- (1) 調査期日及び箇所：令和3年10月8日(金)・14日(木)・18日(月) 町内全域
- (2) 概要
町内道路、河川、漁港、港湾、観光施設、農業施設ほか関係箇所について、町内を巡回し、現地調査を行った。
- (3) 調査における意見、要望等
- ①町道、林道、農道等町管理道路の維持管理不足が見受けられる。事故防止の上からも次の事項に留意し早急な対応が必要である。
- イ、山間部の道路脇の草木の伐採、側溝の清掃
ロ、危険箇所等安全対策の徹底
ハ、舗装路面の破損、陥没、路側の決壊、法面崩壊等補修、落石、崩土の処理及び対策
- 二、災害発生による孤立化に重要な迂回路となる道路の改修
- ②河川の維持管理の不足が見受けられる。洪水、土石流の発生、浸水等により、人命に関わる影響が大であり、次の事項に留意され、早急な対策が必要である。
- イ、河川護岸の暖竹、竹木の伐採
ロ、護岸の決壊、被災箇所の調査の実施、財産の保全、安全対策の徹底
ハ、砂防ダム等に堆積している土砂等の撤去
- ③山間部における水田、畑地の荒廃対策の実施（国土保全、洪水対策）に努められたい。
- ④松食い虫の防除の徹底と被害木の早急な伐採処理に努められたい。
- ⑤年柄イゲ林土捨て場の適正な管理及び、土石流防止のための堰堤等の設置による安全対策の確保が必要である。併せて新たな公共土捨て場建設の検討を。
- ⑥富岡北西の自然海岸の景観は素晴らしく、近年サーファーの人気スポットにもなっているが、管理不足が見受けられる。適切な維持管理が必要である。
- ⑦観光施設や公園、休憩所等において、樹木等が大きくなり眺望を阻害している箇所がある。計画的伐採が必要である。
- ⑧町道善亀線災害復旧工事の集水用井戸が完成している。本井戸は地すべり対策上重要な施設であり、管理体制の基準等を作成するなど長期的な対策を講じる必要がある。
- ⑨畜産糞尿の投棄が行われている箇所があり、環境衛生面からも問題がある。この場所は、再三問題が発生している箇所、指導監督下にあると思われるが、現地を確認され、なお一層の指導体制に努められたい。
- ⑩今後、施設の老化、ライフラインの維持管理、地球温暖化による環境変化、異常気象による被害等、町民の生命財産を守り引き継ぐためには、多額な財源が必要となる。適切な財政管理が必要である。

◎今回の大きな目的は、町内を広く見て回り、多くの地域の現状を知る事であった。

このことにより、感じたことは、山間部の道路、河川、農地の荒廃、既存の忘れ去られた観光施設の放置等が目についた。特に、町中心部と山間部の行政サービスに大きな隔たりがあると感じ、また、担当課が足を運んでそれぞれの対応はしているのか、疑うような所が多くあった。今後は、すべての公共施設、関係物件において、議会、町執行部と一体となって、知恵を出し合いながら、町民サイドに立って、均衡のとれた行政サービスに努めなければならないと痛感した。

また、今回の一般質問でも指摘されていたが、現場を担当する職員の思考不足が原因の問題箇所、物件が目立った。善処されるよう求める。

出席委員

松本良人委員長 山口利生副委員長 石田みどり委員 浜口雅英委員 倉田 明 委員 錦戸俊春委員

一般質問

(10議員登壇)

問1 空き家の危険家屋対策は？

老朽化した危険家屋の倒壊によって近隣住民とのトラブル等が発生する事が危惧される。町に危険家屋は、何件あるのか、また、所有者に解体等の改善処置等をお願いをしているのか？過疎地域指定の有利な財源を生かし危険家屋対策の解体費用補助金制度を作っているのか？

町長 町内で300件以上の空き家があり67件の危険家屋を確認している。その内、所有者には年に2〜3件適正な管理をお願いしている。令和4年度から予算計上を検討しており、補助率2分の1以内とし、解体住居は60万円倉庫が30万円を上限とし、5軒分の300万円を計上予定。

問2 松原川の国道324号の越波対策は？

今年8月、松原川で危険水位を超える危機状況になった。今後、台風・高波・大雨などの最悪条件が重なれば人的被害もでることが考えられる。早急な防災対策を。

また、越波の状況を見ると、坂瀬川地区の小路川付近から西河内付近の海岸線が高波による被害が多い状況。県へ早急な対策を要望すべきでは？

町長 洪水等防災対策については、県漁港課と緊急自然災害防止対策事業債を活用した護岸の嵩上げについて協議を進めている。



野崎 幸洋
議員

併せて、新年度予算に対策検討の為の測量設計費用を計画している。国道324号の越波対策は現在、上津深江地区を行っているが坂瀬川地区の実施時期については現時点では予算確保が出来ていないため未定。早急に申し入れを行う。

問3 コロナ禍における会食等の人数制限緩和は？

苓北町の飲食店は、営業時間の短縮等様々な感染予防対策を行って来られた。しかし、大人数での飲食は感染リスクが高いとの認識から売り上げは伸び悩んだままの状況である。十分な感染予防を行った自己責任の中で、飲食できるよう、町として方向性・考え方を発信してはどうか？

町長 県は、11月18日「感染対策を徹底すれば、県民や県職員が忘年会を開催しても問題はない」との認識を示されている。

町としても、町民の皆様に対し、12月5日発行の「お知らせ版」において、会食に係る人数制限がない事「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」に基づいて開催できる事を周知した。

令和4年度 町予算編成と基本方針
脱炭素と苓北火力発電所の動向



畑 明
議員

問 政府は、11月19日経済対策として55兆7千億円を閣議決定し、令和3年12月から5年3月まで「16ヶ月予算」とし、年末に4年度当初予算案と一体的に編成される見込み。これを踏まえ、本町の令和4年度予算案及び、基本方針、重点事項等は。

町長 第7次振興計画の基本計画（ふるさと苓北未来プラン）で、『安心して住めるれいほく』『いきいきと暮らせるれいほく』『ふるさとと呼べるれいほく』の計画達成に向けた実施計画を基本に、加えて第2期地方版総合戦略（苓北町まち・ひと・しごと創生総合戦略）を推進する予算編成としたい。

このため、自主財源及び国・県補助金等による財源確保に努め、各事業の対費用効果等の検証を行い、効率化による行政サービス向上を目指し、重点事項に①新型コロナウイルス感染症対策に係る施策②安心と安全につながる防災施策（新③豊かな自然に育まれた農林水産資源を活かした基盤産業の振興に係る施策④子ども・子育て支援及び高齢者支援の充実につながる施策⑤地域の歴史・観光資源を活用した関係人口の創出・拡大につながる施策⑥ICTを活用した教育と未来を担う人材を育てる教育力の向上を図る施策。

また、令和3年度から『過疎地域特別措置法』で過疎対策事業債を引き続き、有効活用したい。

問 10月イギリスで開催の国連気候変動枠組条約（COP26）は、パリ協定に署名した192ヶ国が参加、2100年の世界平均気温の上昇を産業革命前に比べ、成果文書には1.5度抑える努力とし、最大の焦点だった石炭火力発電は先進国と発展途上国の溝は埋まらず、合意文書案の『段階的廃止』が『段階的削減』と表現が弱まる合意となった。

これは、CO₂排出削減対策が講じられていない火力発電設備が対象。国内114基のうち非効率率の100基程度が対象で、苓北発電所1号機が予想される。政府発表から1年、現状と町長の見解は。

町長 現在、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度から46%削減するという新たな目標が盛り込まれ、苓北火力発電所1号機も削減対象になっている。現在、九州電力はこの1号機燃焼時、CO₂を排出しないアンモニア混焼等の新技術確立に向け検討されている。1号機の存続は町民の雇用確保、電力安定供給に必要不可欠、施設整備等には国の支援も必要で、他自治体と連携をしていきたい。

問 アンモニア混焼には、発電所立地自治体議会の同意は必要なのか。

課長 環境保全協定の見直しが必要であるならば、議会の同意が必要かとも思われる。

① ビジターセンターと

歴史資料館の管理運営は

② 公共事業のあり方

業者育成と財政及び指名競争入札について



戸幸雄
議員

問① ビジターセンターの床面を利用し、ガイダンスマップが設置されている。「ふるさと」を不特定多数の入館者が土足で踏み込む行為に対して、禁教時の踏み絵を想像し不快の念を持っている。今年9月には、熊本市花畑公園の「歴史サイン」に対し、賛否両論が起こり、一旦撤去すると報道がなされた。改修工事に当たり本町の対応は。下槽には、現在展示以外のゆかりの寺社の展示を要望していたが、その後の対応は。歴史資料館では、リピーター対策として、新たな展示物の発掘と展示方法の検討も必要と思う。角槽は、長年の懸案であった常設の展示がされているが、本格的なGOTOトラベル前に防火防犯対策として、カメラの早急な設置が必要では。

町長 地図表示であるので現状のままの案内説明として改修に際しての提起は行っていない。下槽の展示要望については、継続、検討中である。歴史資料館のリピーター対策としては、アンケートを実施してその結果を基に、ソフト面の改修や情報発信を含め改善を行っていく。角槽の防犯カメラの設置については、早急に対処する。

問②

来年度は、感染症対策により疲弊した経済回復に向け公共事業費も大きく増加するとある。が、大型機械設備を必要とする舗装業者では、予算額減少に伴い維持管理に大変苦慮しているようである。業者育成も大切である。財政面から見た考えは。工事発注時の指名業者の数についての「おおむね」の解釈について、質問を行い指名委員会で検討するとあったが、その後の対応は。

町長 令和4年度予算編成については「枠配分方式」により編成中である。指名業者数は、5者が原則ではあるが、工事の種類により4者でも可能と考えている。志岐集会所大規模改修工事で4者を指名している。

再質 町内の国・県道舗装工事のほとんどが町外業者で施工されている。県工事入札参加者資格審査の結果と解するが、そのための町予算の取り組みを願う。4者の指名経緯は、水道工事において緊急工事対応のためにも、あえてその解釈を願った。最近電子入札が大勢を占めるようになった。本町も一日も早く対応できる体制づくりを願う。

農地改良への

規制について



山口利生
議員

問 建設経済環境常任委員会の公共施設等町内全域調査で、町道善亀線災害復旧工事に係る建設残土(約5千m³)の処分先に指定した志岐道ノ尾にある民間業者管理の土捨て場を視察した。この土捨て場は、志岐山中腹の谷間をACCⅡ(アッシュクリートタイプⅡ)盛土材と建設残土で埋め立ててあり、ACCⅡ盛土材で築堤した堰の高さは推定20m以上で、谷底からの強風によりACCⅡ盛土材の粉塵が舞っていた。後日農業委員会に確認したところ、農地所有者からイチジクとオリーブを栽培するために、山土(建設残土)とACCⅡ盛土材で畑地高上げを行う農地改良届が提出されていた。複数回の変更届により、工事期間は令和3年5月までの約10年間にわたり、最終面積は2519m²まで拡大。現場の状況から、建設残土とACCⅡ盛土材の埋立量は数万m³におよぶと推定される。もし、この埋立地が大地震や大雨により崩壊した場合には、去る7月3日、静岡県熱海市で発生した大規模土石流のようになつて、下流域の人家や農地、道路等に大きな災害を引き起こすのではと危惧したところ。

そこで、①民間の土捨て場を公共工事建設残土の処分先に指定する際、急

傾斜地の谷を埋め立てている土捨て場の安全性や将来にわたり適切に維持管理できるのか十分調査検討したのか。

②現在の農地改良届出制度は、農業委員会が届を受理するだけで計画内容の審査も指導もできないとのこと。災害発生が見えされる案件は、町として指導や規制ができるような手立てが必要と思うが町長の考えを問う。

町長 ①当該土捨て場は、以前から土砂の受け入れを行っており、運営事業者から町の建設残土の受け入れは可能との回答を受け、事前の調査検討は行なわず処分先に指定した。運営事業者は、土砂受け入れに関する必要な届出等も提出しており、今後とも適切な管理がなされるものと考えている。②農地改良届は、農地の保全若しくは利用の増進といった農業経営の改善を目的として提出いただくもので、農地改良後は原則として3年以上農地として有効に利用することを要件としている。他の自治体においては、農地改良と開発行為等を区別するため、農地改良の要件に造成面積、高さ等の制限を設けている事例もあり、今後農地改良届の要件内容について農業委員会と検討して参る。

1 高齢者・障がいを持っている人に優しい町づくり

2 町の観光施設の整備は観光客や利用者本位に

3 森林基幹道茶北天草線崩壊ヶ所の横断側溝について



石田みどり
議員

問① ①巡回バスの運行及び時刻表、曜日により運行しない曜日がややこしい。2台の運行なのにどうにかならないか。時刻表も地区別に配布して欲しいし字が小さくて読みづらい。

町長 利用者の公平性を保つためにそれぞれの地域から同じ条件で利用できるように設定している。今後文字が大きく見やすくなるように時刻表の作成を考える。

問② ②公共施設のトイレの改修、履物の履き替えを早急に改善するべき。

町長 公共施設は避難所にもなっている所が多いので早急に検討を進める。トイレスリッパの履き替えは衛生上必要であり引き続きお願いしたい。

問③ ③介護認定者の介護用品購入時や住宅改修で償還払いでなく委任払いにすることはできないか。

町長 介護用品購入費、住宅改修費については申請者が自己負担のみを支払う委任払い制度を実施する。

問④ ④トルレス広場や他の観光箇所の案内板を観光客の目につく場所へ設置するべし。またトルレス広場の説明版の文字が小さすぎて読みづらい。もっと読みやすく工夫することはできないか。

① 脱炭素社会に向けた、石炭火力発電立地自治体としての考え方について

問

日本の電力の安定供給を考えるときに石炭火力はなくてはならない、だからこそ石炭火力発電をいかにして、地球環境に悪影響を与えないものにするかを考えるべきだ。燃やしても二酸化炭素を出さない「アンモニア」が脱炭素の新たな切り札として注目されている。九州電力はノルウェーの肥料大手とアンモニアについて協業を検討すると発表がなされた。設備投資補助等につき、全国の石炭火力発電所立地自治体の総意として国をはじめとした関係機関への働きかけが必要だと思われるがいかがか。

町長 現在、九州電力におかれては、茶北石炭火力発電所1号機について燃焼時に二酸化炭素を排出しないアンモニア混焼等の新技術確立に向け検討がなされている。新たな技術導入施設整備における国の支援については、現在、炭素基金の創設がなされているが、アンモニア混焼を進めるにあたつての貯蔵設備等の施設改修が必要となると思われるので、議員の提案のとおり、全国の石炭火力発電所立地自治体の総意として、国への支援の働きかけをして参る。

② 町温泉プールを管内小中学校プールとして活用してはどうか

問

町温泉プールを利用することによって、学校プールの維持管理の負担軽減がなされるばかりでなく、夏場に限定されない水泳の授業が可能となる。温泉プールの大規模改修や設備の更新も視野に入れ、学校プールとして位置づける時期に来ていると思われるがいかがか。

教員

管内5小中学校のプールを維持していく経費は、老朽化による補修と機械設備のメンテナンス、水質管理のための諸費用等により毎年多額なものとなっている。令和4年度において安全な使用が可能と判断した志岐小学校と富岡小学校は自校プールを使用、他の3校については温泉プールを使用することが妥当であると判断し、先の町内校長会議で令和4年度における授業実施計画案を提示した。

温泉プールの大規模改修や設備更新についても、今後、具体的改修計画の策定を図って参る。

苓北町産食材の品質・鮮度を保持し
すみやかに需要者に届けるために

問 現在の苓北町における農業経営が大変厳しいこととなっている。

新型コロナウイルス感染での影響もあるが、資材・ガソリンをはじめとした輸送コストの高騰等々、地方の農家はこうしたらよいのか、わからない状況にある。現在、JAれいほくにおいても、JA全体の合併も考え、熊本県下各JAの意見を聞いた上で決めるとのことようだ。JAれいほくで出荷体制等、いろいろ工夫し対応されている。JAあまくさ、JA本渡五和と連携を取りながら、「週3回」出荷しているとのこと。

毎日出荷が出来ないのは、春夏秋冬、四季折々の野菜の量が少ない、種目が少ないからだ。このことよって、品質・鮮度も落ちてしまうこととなり、市場に近い生産者とは大きな差が出てしまっている。それは何かというと、物流コストが添加されてしまう「価格設定」ということになる。これでは、地方の農家は、専業としての経営が大変だ。後継者はいない、新規就農者も見込めないと考える。このことは、農家だけでなく、漁家も同じだ。苓北町の漁家の後継者も少ないと聞いている。

苓北町として、都市部の小売り・飲食店等の仕入れ価格の低減を図り、苓北町産食材の利用頻度を高める仕組みとして、その配送する仕組みとなる制度を再設計、支援することにより、苓



田嶋 豊昭
議員

北町の農家、漁家を守ることが出来ないか、お尋ねする。

また、苓北町は令和3年4月1から「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の適用を受けることとなった。過疎地域としての適用を受けるのは、農家、漁家ではないだろうか、町として対策、支援策を考えてもらえないだろうか。

町長 JAれいほくでは、国指定野菜価格安定事業による価格差補助金をセーフティネットしながら、収入を予測できる契約栽培を推進すること、経営の安定化を図ると共に、天草3JAでは、将来的な県内JAの県域合併を見据えた協議会を立ち上げ、輸送コスト低減に向けた方策の検討が行われており、今後トラックの共同利用や中継輸送などにより輸送コスト低減が図られることが期待される。

町として既存の農業振興補助金を始め、今年度新たに設けた農業における農業経営収入保険掛金補助金や、漁業における貝類等養殖設備更新事業補助金等を含め、農業及び漁業従事者にとって真に必要な施策について、関係機関と連携し、引き続き取り組んで参る。

苓北町民への政治的
アンケートの実施について



野田 謙二
議員

問 先の衆議院議員選挙において、熊本4区からの選出議員は自由民主党所属の金子やすし総務大臣が選出された。

その後の臨時国会で、総理大臣であった岸田首相が再度選出され、101代内閣総理大臣となり、その後の閣僚指名で、金子氏もそのまま、総務大臣として留任となった。さて、金子総務大臣だが、町長の大学での後輩であり、熊本県選出国会議員の秘書という職歴でも後輩という、町長とも近い人だと思っている。

その金子大臣の総務大臣という仕事は、地方自治体の管理監督ということも仕事のひとつだ。

そこで、苓北町民に国政・県政・町政へのアンケートを取ったらどうだろうか？

国政に関しては、リアルな提言は難しいだろうが、岸田首相は、「聞く力が特技だ」と公言されておられる。そうすると、良いアイデアなら、総理大臣との面談があるかもしれない。どうだろうか？

町長 苓北町では平成30年に第7次振

問1 苓北町公民館条例設置により目的、公民館業務、活動等が掲げられている。

①設置目的に伴う、実績、現状を尋ねる。
②使用料の減免は公用又は公共用に供するために使用する場合の他、公益上特に必要と認める場合使用料を減免できるとなっている。対象団体等を尋ねる。

又この減免は、別表第2（第7条関係）に基づき使用料を減免すると理解して良いか？

町長 減免は、別表第2（第7条関係）に基づき減免している。冷暖房費は内規による。

再質 冷暖房費は使用料に付随するもの早急な見直しを求める。

問2 苓北町巡回バスが10月からこれまでの1台から2台に増車され、新しい運行計画で2ヶ月経過した。2ヶ月の利用実績を尋ねる。

町長 10月466人内温泉センター381人。11月488人内温泉センター402人。

再質 1日に15〜16人の乗車は少ない。原因は、運行ダイヤの組み方と思われる。

早急な見直しを求める。

問3 農用地、林地等個人財産の保全に対する公費投入における条例の制定について

異常気象等による災害については、河川、道路、海岸等、国、県において救済措置がある。

今後、自然災害による河川、海岸護岸の浸水や浸食、イノシシによる崩壊等様々な理由により個人の財産が被害を受け、増大している中、町に救済が求められる事態が発生すると思われるが、現在、個人の負担に格差がある。

この様な中に、町内一円不公平を是正し、町民が平等に財産の保護が受けられるよう、一定のルールの下、規則、条例等の制定が必要と思われる。町としての考えを問う。

町長 事案に応じた適切な対策を講じ、農用地林地等の保全を図っていく。

再質 事案に応じた負担金等の対応が一定し

安心して住めるれいほく

(一) 福祉施策の検証

1 要介護者の現状

問 高齢化率が43%に達しているが要介護者への実情は掴んでいるか。家族での対応が困難あるいは何とか対応しているが、施設への入所、入居を希望しておられる状況等があるのか。どのような対策を考えているのか。

町長 要介護者の現状は65歳以上で要介護認定者は、総数516名。高齢者のみの世帯が52名と高齢者以外の同居が164名。51名の方が困っておられる。地域包括支援センターへの相談件数は、269件。相談後の対策は、介護保険の申請に至った方が48件、総合事業の申請に至った方が11件、入院に至った方が45件。

家族や民生委員等から相談を受けたら、本人から聞き取り調査を行う。

2 介護施設周辺インフラの整備

問 町道財の尾2号支線沿線に介護施設があるがこの町道の状況を整えるべきではないか。

町長 現地調査により把握している。4年度で予算計上の上舗装打ち換え工事を実施する予定。

3 子宮頸がんの予防

問 子宮頸がん予防接種は法律に基づき接種されていたが全身の痛み等で積極的勧奨を中止。予防効果や有効性、安全性に関するデータが蓄積されて、勧奨接種中止から8年ぶりに予防接種が再開されるがその手段方法は。

ていない。町民に不公平を与えないよう早急な対応を求める。

町内各施設に付属しているトイレ

問4 町内各施設に付属しているトイレは洋式化の希望もあり洋式トイレの普及についてはかなり進んでいると思われるが、当然、洋式トイレ、和式トイレの長所、短所を検討され、各々対応されて来たものと思われる。

身体的にどうしても、洋式トイレが必要な人、不特定多数の方が利用される洋式トイレはいやだと言う人等様々である。また、このコロナ禍の中に、不特定の方が直にふれあう便座の危険性も当然考慮された事と思うが、この様な中に、実状と、計画について尋ねる。

町長 複数有る場合、洋式トイレ和式トイレを設置する考え方で整備を進める。

風力発電計画に伴う財産区有地について

問5 株式会社レノバが計画している風力発電関連工事が来春から始まる。大半が都呂々地区であると言うことだが、都呂々財産区の土地が広範囲に関係し、利用されると推測される。この土地についての面積、使用料等について、また使用料は多額になる可能性がある。歳出計画等について尋ねる。

町長 山林、257万7233㎡、保安林27万1904㎡、雑種地1177㎡。

使用料、総額約1260万円運転開始約後973万円。

都呂々地区振興のため基金の創設を進める。



松本 良人
議員



浜口 雅英
議員

町長 来年4月から再開する対象者の小学6年生から高校1年生の女性に対し予診票を送付する。8年の間の無料接種の対象年齢者は261人、来年接種の対象者は、142人。

(二) 民営作業道建設の検証

問 町道年柄線に隣接する山地に作業道が建設されている、現状の確認は。

町長 九州電力グループ会社が近隣住民の安全管理を考慮され施工されている。安全性等は関係会社と協議をして参りたい。

(三) バス通学生等への環境整備

問 2年第8回定例会、3年第2回定例会でバス通学生の通学環境整備の一般質問を行った。この事に対する現在の進捗状況を尋ねる。

町長 今年度に検討を進めている。4年度予算で1箇所分を予定している。

いきいきと暮らせるれいほく

(一) 人口減少対策

問 苓北町の永続的な発展には町内の若者を引き留める施策を検証し、企業の誘致を模索すべき。

町長 「苓北町第7次振興計画」を策定し事業を推進している。

若い方が就職できるような、業種の企業誘致も研究して参る。